

●竹蛇簞作り 28日 10時から

モデル作り 近代性2技術を学ぶ 播川、深田、森島、福井、有田

先日の台風の21号・22号の連続襲来ですっかり中聖牛の設置が遅れてしまい。しかし、それまでに近畿大学の学生さん2名が蛇簞製作に関心をもって28日製作に来られました。実はこの日は里山の会が約2か月に亘る蛇簞製作に挑み、何とかその技術を学びとったところで、モデルとして最高傑作を製作することになり、主力メンバーにご参集をお願いしていました。ところがメンバーの多くは学生さんや青年が来てくれたことで、目的をすっかり忘れて、技術の伝承に熱が入り、初心者対応の方針変更で行ってしまいました。午後には学生2名が中心になって立派に製作されました。自信を持たれたのではないのでしょうか。できれば学校で製作し、近くの川で利用するという事になっているようです。モデルとして残すモデル製作は再度の機会に譲ることになりました。

●会誌43号印刷原稿出来上がる 170ページ 里山の会では20年前の発足時から機関誌として「里山の自然」の発行を手作りで行って、43号に到達しています。これまでは回転式のモノクロ輪転機によって、1頁ごとに発行枚数を印刷し、刷り上がったものを体育館で並べて、用紙を拾い集めて、製本作業を行ってきました。それが手間のかかる大仕事でした。しかし、それは本が自分たちの手で作り上げられるということで成果がみるみる積みあがる喜びを味わうことにもなっていました。ところが、表紙のカラー化ができる印刷機の購入によって、一冊ずつ組みあがって、残るのはホッチギス止めと背表紙の貼り付けの作業のみになり、人手集めの苦勞から解放されるようになり、助かりました。

しかしその一方で、会員同士の交流の場が失われてしまいました。合理化、機械化の進歩は便利さを増しましたが、失うものもありました。今回43号は、最後の原稿が講演会報告と巻頭の言葉の依頼が遅れて、印刷直前に間に合い、発行が初めて11月になり市民文化祭直前の発行です。時間がなくご無理をお願いした西野先生、岩佐先生には大きなご協力をいただきました。ありがとうございました。

●秋は文化活動・展示発表会の季節 やましろ里山の会はこの時期に、発足依頼京田辺市民文化祭で活動紹介発表を行ってきました。今回は前号でもお知らせしましたように竹蛇簞作りと中聖牛の設置が完成して発表できるものと考えていました。設置が二つの連続台風の影響で展示発表に間に合わなくなり、少し残念です。しかし2年前に設置した竹蛇簞の生き物の調査結果の一覧表は木津川の豊かさを示す成果物です。今年初めて行った夜の生き物調べでは2万匹以上の生き物が集まった成果を発表します。里山農園の自然の豊かさに、きっと驚かれると思います。ご期待ください。そのほか新春の新聞で報道された京田辺市で初めてカスミサンショウウオの成体を発見した発表もすごい出来事です。今回の展示ではいずれも山城地域や京田辺市で最初という調査観察結果となる展示を予定しています。近年になく里山の会のメンバーが大変活躍した成果の発表です。ご近所お誘いの上ご覧になってください。模擬店では、テントが北の奥まった所にありますが、是非お運びください。自然素材を活かした手作り蔓簞や子どもたちが自分で作る綿菓子人気商品です。天候の不良で、新鮮野菜の生育にばらつきがありますが、ハウレンソウなどを並べます。なかでは里山の会といえば鹿背山の柿も準備しています。リピーターには最も人気のある品物で、毎年、完売となっています。収穫量には限りがあつてご迷惑をおかけしますが、お早めにお越しください。売り切れごめんです。

●文化祭の展示や模擬店 についてお知らせしましたが、前日の準備のお手伝いにもお越しください。3日(金)の午前中(9時)からは、体育館での展示ブースで活動の成果物を飾り付けます。お手伝いをお願いします。午後からは屋外での模擬店の会場設営になります。夕方には柿の収穫、野菜の収穫など里山農園の収穫作業となります。短時間でもお手伝いにお越しください。今年取り組みでは、里山の会の活動を説明案内することと同時に成果物を得る苦勞や喜びをしっかりと伝えすることを重視して、入会者を沢山お迎えすることを目的に位置付けることになりました。よろしくご協力お願いします。スタッフにみなさんが、模擬店や展示発表を通じて、自分の言葉で里山の会の説明を行ってください。ご協力

をおねがいします。

●5日は城陽市環境フォーラム 城陽市の環境フォーラムからも展示物の発表依頼が届きました。里山の会では松傘ツリーづくりは大変人気があって、出店の問い合わせが寄せられています。城陽市は比較的都会に近いところもあって、農園や自然の生き物にはずいぶんと関心が高まっているようです。今年は何とかして、玉虫の美しい羽根の実物を展示できればと思います。

●事務局会議から マラソン大会について混乱が発生していると発言がありました。第35回の京都木津川マラソン隊は2018年2月4日（日）の開催となっています。選手募集はコースの安全度アップを考えて、例年になく、募集規模を縮小されたようです。予算的には苦しいことは判っていますが、事故が発生すると元も子もなくなりますので、少し規模を縮小することに踏み切ったようです。近頃自治体やマスコミが主力となる大型で都市型のマラソン大会が目白押しとなっています。京都木津川マラソン大会は、手作りで、制限時間がなく、環境マラソンとして継続されています。そして何よりも地域に支えられる大会として、その精神を生かし、支援の輪が広がっています。この精神を生かしたローカルな大会です。京都府下では最も歴史と伝統のある大会となっています。今年も多くの皆さんがボランティアとしてご協力をお願いいたします。

●河川協力団体として 近畿地方整備局淀川河川事務所から木津川希少種生育調査管理業務の発注があり、契約書の取り交わしが終わり、いよいよ着手前事務処理として、1、業務計画書の提出、2、主任技術者通知書の提出という段階に漕ぎつけました。ここからが本当の現場での取り組みとなってきました。中でも最も気を遣うのは、作業中での事故の発生防止安全対策と保険と補償についてです。慣れないことで戸惑っています。今回はJAにお世話になります。そして着手前と完成後の写真撮影、そして作業中における通行人や一般人への苦情発生防止など、これまでは気にも留めてこなかった配慮など随分と気を遣はなければならないことです。なれない暗中模索の取り組みですが、できれば多くの皆さんと木津川の希少植物の保全管理への取り組みにご参加ください。希少植物の生育調査と保全のための除草作業の二本柱での作業となります。お気軽にご参加ください。連絡をお待ちしています。

●木津川希少種生育調査管理業務での除草作業の実施は11月6日（月）の午前8時30分に里山の会事務所を出発します。ご参集いただいた皆さんに作業内容を現場で説明させていただきます。作業現場は八幡市の御幸橋付近から木津川市加茂町の恭仁京橋付近までの21カ所となります。作業の進行具合によって、集合場所は移動します。現地集合と予定しています。ご注意ください。問い合わせは、やましろ里山の会へ電話 0774-64-4183（兼 FAX）で連絡ください。

●予定しています中聖牛の組み立ては11月11日12日に静岡県島田市の原小組さんが組立指導を行っていただきます。これまで資材の組立を検分することはなく、初めての取り組みとなります。貴重な体験を実習指導いただく予定をしています。こぞってご参加ください。なお玉石を詰め込みをして竣工式までを計画していましたが、地元業者田中組さんは先の台風で流れ橋か流域で茶畑の洗掘が発生し、復旧作業に追われているので、間に合いませんので、玉石の詰め込みは12月2日3日に延期せざるを得なくなりました。悪しからずご了解いただきますようお願いいたします。